

# 就労支援のエキスパート 沖縄障害者職業センターニュース

新しい仕事に就くのって不安だな…

障害者雇用を進めていきたいけれどどうやって雇用管理していけば良いのかな…



ジョブコーチ支援活用で、半年定着率87.5%!!



ジョブコーチ支援とは…

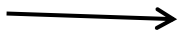
障害者が職場に適應できるよう、ジョブコーチが職場に出向いて直接支援を行います。

## ジョブコーチ支援のイメージ

会社に訪問



ジョブコーチ



企業

現場で支援



ジョブコーチ



ご本人

相談と調整



事業主



ジョブコーチ



ご本人・ご家族  
支援機関



## 本人支援

- ストレス・疲労の管理と安定した勤務のための支援
- 職場内での円滑なコミュニケーションのための支援
- 職場のルール理解への支援
- 適切な業務遂行への支援

## 事業主支援

(人事担当者/現場担当者)

- 障害に応じた配慮事項に関する助言
- 本人への関わり方の助言
- 職務内容の設定への助言
- 従業員に対する理解促進のための支援

## 家族支援

- 本人の職業生活を支えるための助言



実際にジョブコーチ支援を活用頂いた、ご本人、企業様の声をお聴きしました！くわしくは、次項へ→→



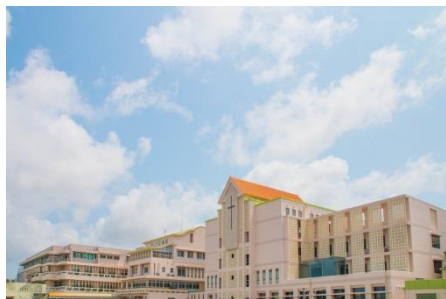
A病院で働くBさん。頑張りすぎる傾向があるため、ジョブコーチ支援を実施し、無理をしすぎない働き方について相談を進めました



Bさん

私は介護士として働いています。ジョブコーチ支援を2回利用しました。1回目はどこまで仕事の話をして良いか迷ってしまい、大まかな話しかしていなかったのですが、2回目により具体的な仕事の状況を相談することで、具体的な解決策をジョブコーチと一緒に検討できて、とても助かりました。また、継続的に相談することで、前は「わかったつもり」でいてつい忘れてしまっていることでも、ジョブコーチからヒントをもらうことで思い出し、振り返りをすることができました。

また、相談スタイルも私が一番相談しやすい時間帯や環境を提案してもらって、落ち着いて相談することができました。



事業所としても内部で対応していたのですが、細かなケアや相談の仕方に迷いがありました。ジョブコーチと相談をすることで、本人の目標が明確になり、何に取り組めば良いのかが明確になりました。事業所や本人だけが抱え込まず一緒に頑張れることが良かったと思います。本人としても素直に助言を受け入れようとする姿勢があったことがうまくいった要因の一つかなと感じます。

また、社内でもジョブコーチ支援の活用状況を報告しながら進め、人事や現場との共有を行いました。Bさんの状態を所属長や人事にも共有することで、一環した対応ができるため、担当者だけの面談や調整だけでなく、社内でも共有していくことも大切であると感じました。

事業所担当者



ジョブコーチ

Bさんは頑張りすぎる傾向があるため、職場では明るく振る舞い、自ら仕事を見つけ出しすぎている傾向が見られました。そのため、相談の中で具体的な場面や行動を確認し、相手が求めているのか、自分が頑張りすぎているだけなのか、整理をしていきました。こうした取り組みをしていく中で、Bさんは徐々に自分の行動を振り返り、気づくことができたと思います。また事業所担当者とも共有することができたため、社内での調整や共有もして頂けていることで、連携してBさんが無理なく力を発揮できる働き方をできていることに繋がっていると思います。

面談時間や場所は、ご本人や事業所担当者に可能な範囲で合わせて対応しています。お互いが、落ち着いて、安心して相談できることが大切ですね。



食品製造会社C社で働くDさん。初めての就職であり、職場でのルールや、色々な手続きを覚えるまでに時間を要するためジョブコーチ支援を利用しました。



Dさん  
ご家族



【Dさん】

ジョブコーチとチェック表をつけること、タイマーをセットすること、評価表の点検をジョブコーチと一緒にやりました。できるようになったので、もういらないと思います。

【ご家族】

チェック表に書かれたコメント等で状況を把握して出勤の前日に注意点の声かけをしていました。また、親は現場に入れないので、具体的な仕事の手順をチェック表にすることはできません。ジョブコーチ制度があって本人が仕事内容を一つ一つ身につけることができ、とても助かりました。

一般の方でも、段取りがうまくできずに辞めていく人もいる中で、導入の段階にジョブコーチをつけるのは重要だと思います。ルーティンの動きを覚えることができれば、あとはしっかりと仕事をこなしてくれています。挨拶も元気になってくれますね。今では表情を見れば調子も分かります。

ジョブコーチはずっとつくというわけではなくて、徐々に離れていく仕組みは良いと思います。

事業所担当者



ジョブコーチ



食品製造の現場だったので、制服着用や手洗い等、現場に入るまでの手順が多くあります。私たちも覚えるのが大変なくらいでした。実際に現場を見せてもらいながらDさんに必要な項目をチェック表としてお渡しし、最初はジョブコーチが見た状況をチェックしてDさんと振り返りました。徐々にDさん自ら記入してもらうようにして、最終的にはDさんが記入して事業所担当者に確認してもらえるように支援を進めました。

このような流れがうまくいったのは、ご家族の協力や、事業所の協力があったからだと思います。



次回は、リワーク支援についてご紹介します



★ご相談や支援の詳細は、下記にご連絡下さい(受付は平日8:45~17:00)★

★もしくは最寄りのハローワークにてご相談下さい。★

なお、**職業センターの支援内容の説明会(オープンセミナー)**を毎月2回実施しています(実施日についてはお問い合わせください)。参加希望は随時受け付けておりますので、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

## 沖縄障害者職業センター

TEL(098)861-1254

FAX(098)861-1116

Email okinawa-ctr@jeed.or.jp

〒900-0006

那覇市おもろまち1丁目3-25

沖縄職業総合庁舎5階

メールマガジン購読者募集中!

障害 メールマガ 検索

<http://www.jeed.or.jp>



※沖縄障害者職業センターは「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構」が全国に設置・運営している施設の1つです。沖縄支部には他に、高齢・障害者業務課、沖縄職業能力開発促進センター及び沖縄職業能力開発大学校があります。